

施策番号	2501		
施策名	幹線道路ネットワークの充実		
概要	円滑なひとの移動，物流を支える幹線道路ネットワークの整備を推進する。とくに，災害などの緊急時に傷病者の搬送，物資の輸送に必要な緊急輸送路の確保など市民が安心できる安全な道づくりを推進する。		
担当局・部室	建設局・土木管理部，道路建設部	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関する 主な分野別計画等	いのちを守る 橋りょう健全化プログラム，今後の道路整備事業の進め方		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	27年度	28年度	29年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 第1次緊急輸送路における道路改良延長(km)	b	c	0.10	0.08	0.19	42.1%	c	1.00	
2 緊急輸送道路における橋りょう耐震補強率(%)	a	a	66.7	73.7	75.4	97.7%	a	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	29年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 災害時も安全に移動できる道路網ができています。	c	c	21	97	200	89	42	449	c
			4.7%	21.6%	44.5%	19.8%	9.4%		
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
		C	C	市民生活実感調査総合評価				C	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、道路完成に至るまでは市民に成果が実感されにくいいため、客観指標評価を重視する。						28 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・道路については、供用を開始して初めて成果が現れるが、平成28年度は供用を開始した道路が少なかったため、事業の成果が市民に実感されなかったことが、昨年度に引き続き、c評価となった一因であると考えられる。 ・橋りょうの耐震補強については、事業が進捗している一方で、その成果が市民に浸透していないことが、昨年度に引き続き、c評価となった一因であると考えられる。						27 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・災害時における避難ルートや道路ネットワークの確保を図るとともに、平常時においても安心・安全な市民生活を守るため、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム(第2期)」に基づき、橋りょうの計画的な耐震補強、老朽化修繕を実施していく。加えて、橋りょう健全化の取組の浸透にも努める。同時に、防災カルテの見直し、道路における落石や斜面崩壊を未然に防止する災害防除対策に取り組む。
- ・市民の安心・安全の確保や京都のまちの持続的成長のために必要となる道路整備事業を実施するに当たり、平成29年度から平成32年度の4年間で事業を実施する路線や選定に係る考え方等を定めた「今後の道路整備事業の進め方」に基づき、幹線道路ネットワークを充実させる。

施策名	2501	幹線道路ネットワークの充実
-----	------	---------------

指標名	第1次緊急輸送路における道路改良延長 (km)
-----	-------------------------

担当課	道路建設課	連絡先	222-3577
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

災害などの緊急時に他の府県からの輸送ルートとなる高規格道路、直轄国道等と京都府庁、京都市役所を結ぶ路線（第一次緊急輸送路）における道路改良延長（都市計画道路を除く）

2 指標の意味

真に必要な緊急輸送路における改良率を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：（執行事業費÷総事業費）×計画総延長
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	0.10	0.08	0.02km減	0.19	緊急輸送路整備目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	42.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上80%未満
c：40%以上60%未満
d：20%以上40%未満
e：20%未満

6 基準説明

道路改良を進めるにあたって、事業対象地の地権者及び地域住民の合意形成・協力が必要不可欠であることから、当該年度の目標整備延長と比較して達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
b	c	c

指標名	緊急輸送道路における橋りょう耐震補強率 (%)
-----	-------------------------

担当課	橋りょう健全推進課	連絡先	222-3561
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

災害時における避難ルート及び救援車両等の通行の確保と市域の骨格となるネットワークを形成するための緊急輸送路上に位置する橋長15m以上の橋りょうの耐震補強完了率

2 指標の意味

災害時に道路ネットワークが形成されていることを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：対策済橋りょう数÷対象橋りょう数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	66.7	73.7	7.0ポイント増	75.4	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために必要な当該年度の進捗割合	97.7%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		98.2	33年度	75.1%	「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」（第2期）（H29～H33）に掲げる緊急輸送道路上の14橋を耐震補強

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・緊急輸送路上の耐震補強が必要な橋りょうの耐震補強完了率。
・財政状況の寄与度が比較的高いことから、最新数値を目標値と比較して、達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
a	a	a